

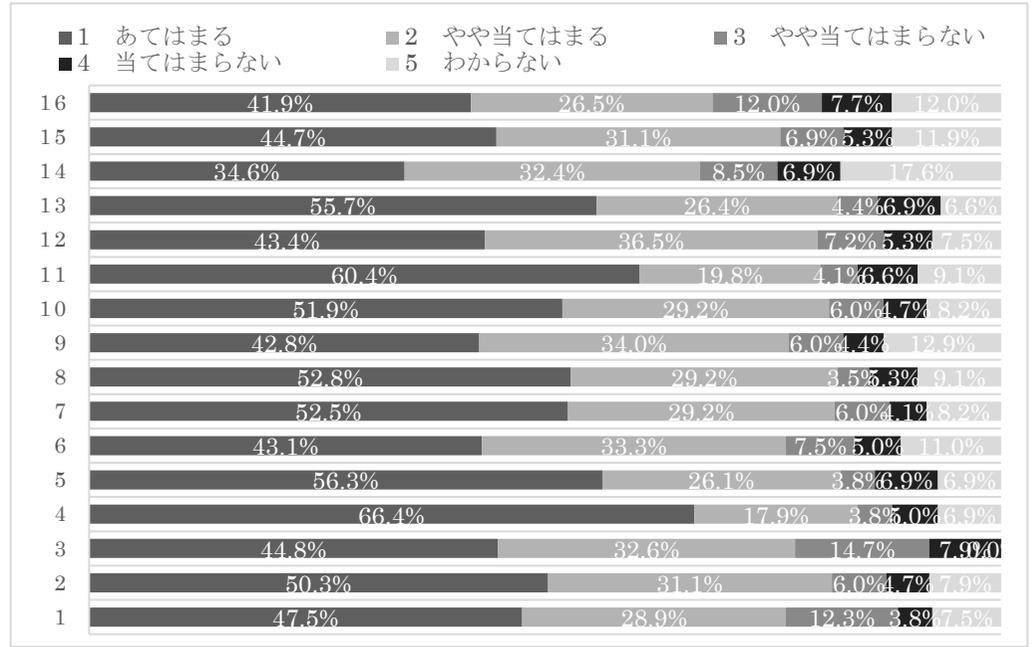


在籍児童・生徒数 小学校562名 中学校468名 合計1030名 <10月1日現在>

前期学校評価を終えて

日頃より、本校の教育活動にご理解・ご協力いただき、ありがとうございます。前期学校評価の保護者向けアンケートに対する結果をお知らせいたします。肯定的なご意見をいただいた部分については今後も継続し、ご指摘をいただいた部分については真摯に受け止め、今後の教育活動の改善に活かしてまいります。

令和6年度前期学校評価アンケートの結果について (小学校保護者)		当てはまる	やや 当てはまる	やや 当てはまらない	当てはまらない	わからない
1	学校の経営方針（「思いやりがあり、優しい人」に重点を置いて教育活動を進める）を知っている。	47.5%	28.9%	12.3%	3.8%	7.5%
2	学校は特色ある取組（小・中の円滑な接続・習得目標問題の定着・あいさつ運動など）を行っている。	50.3%	31.1%	6.0%	4.7%	7.9%
3	みなみ野中学校・みなみ野君田小学校と合同で行う取組（柔道八王子かるた、児童会・生徒会の交流など）について知っている。	44.8%	32.6%	14.7%	7.9%	0.0%
4	学校は、子供たちが安心・安全に過ごせるように、避難訓練などの安全管理に取り組んでいる。	66.4%	17.9%	3.8%	5.0%	6.9%
5	学校は、「特別の教科 道徳」を含む教育活動全体を通して、子供たちが自分の大切さ、他の人の大切さを認め、行動できるような教育をすすめている。	56.3%	26.1%	3.8%	6.9%	6.9%
6	学校は、いじめの未然防止、早期発見、早期対応など、いじめを許さない学校づくりに組織的に取り組んでいる。	43.1%	33.3%	7.5%	5.0%	11.0%
7	子供の学級では、授業や学校行事に意欲的に取り組むよう、指導が行われている。	52.5%	29.2%	6.0%	4.1%	8.2%
8	学校は、授業において、説明、板書、話し合い活動、ICT機器（1人1台の学習用端末等を含む）の活用などの工夫に取り組んでいる。	52.8%	29.2%	3.5%	5.3%	9.1%
9	学校の学習活動に対する評価は適切・公平である。	42.8%	34.0%	6.0%	4.4%	12.9%
10	学校は、子供たちがよりよい学校生活を送れるように、生活目標を設定したり、決まりを守ったりする指導を行っている。	51.9%	29.2%	6.0%	4.7%	8.2%
11	学校が、「はちおうじっ子キャリア・パスポート」などを用いて、子供の生き方や将来についてのキャリア教育を行っていることを知っている。	60.4%	19.8%	4.1%	6.6%	9.1%
12	学校は、学習環境の整備に取り組んでいる。	43.4%	36.5%	7.2%	5.3%	7.5%
13	学校は、保護者に対して、学校便りやホームページなどで適切に情報を提供している。	55.7%	26.4%	4.4%	6.9%	6.6%
14	学校は、特別支援教育（特別な配慮や支援を必要とする子供に対する教育）に取り組んでいる。	34.6%	32.4%	8.5%	6.9%	17.6%
15	学校は、体罰・不適切な指導の根絶に向けて取り組んでいる。	44.7%	31.1%	6.9%	5.3%	11.9%
16	教科担任制になり、以前より多くの教員との関わりを感じる。（5・6年生のみ実施）	41.9%	26.5%	12.0%	7.7%	12.0%

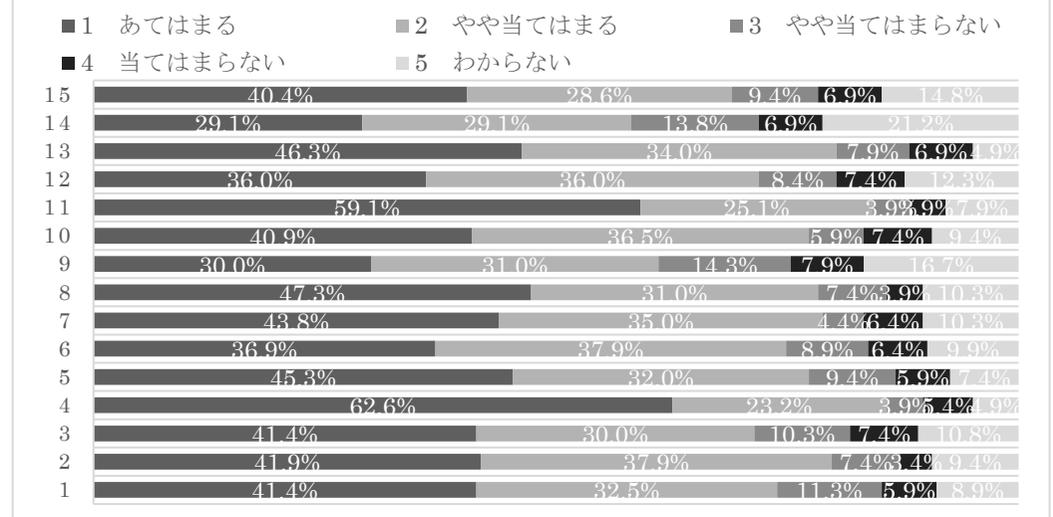


全児童数562名に回答を依頼し、回答数は320名分（回収率57%）でした。質問項目の半数以上が肯定的な意見として80%を超えており、概ね本校の教育活動にご理解とご協力をいただいていることが伺えます。

なお、「1. あてはまる」「2. ややあてはまる」の合計が80%を下回った項目への回答は以下のとおりです。

- ・項目1では、今年度より経営方針が変わり、学校便りや保護者会などを通して知らせたが、周知が足りませんでした。道徳教育を中心として指導をしていきます。
- ・項目3では、昨年度同様70%の肯定的回答に留まっています。学校ホームページ、学校便り、学年便りなどで積極的に情報を発信してはいますが、事前周知のみでなく、事後に活動している写真などを掲載することで保護者の目に留まるように意識していきます。
- ・項目6では、年3回のいじめアンケート及び学校見守りシート、日々の見守りなどでいじめの未然防止、早期発見に努めています。毎週金曜日に行う学校いじめ対策委員会では、各学年で起こった事案について情報共有、対応をしてもいます。今後も組織対応を続けて、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に努めていきます。
- ・項目14では、校内においても「なかよし教室」の先生方や特別支援教育の専門家である大学教授を講師に招いて研修を行っています。そこで、特別な配慮や支援を要する子供たちの特性理解や具体的な支援方法について、教職員が理解を深め、教室でできる支援を実践しています。今後も研さんを深めていきます。
- ・項目15では、昨年度より肯定的な結果が出ていますが、さらに理解をしていただけるように、年3回の服務研修及び児童へのアンケート、毎月の事例による研修などを行い体罰・不適切な指導の根絶に向けて、教職員の研さんを続けていきます。
- ・項目16では、昨年度より下回る結果となりました。教員の数が足りていないため、十分な教科担任制が実施できていない現状もその理由の一つとなっていると考えられます。

令和6年度前期学校評価アンケートの結果について (中学校保護者)		当てはまる	やや 当てはまる	やや 当てはまらない	当てはま らない	わからない
1	学校の経営方針（「思いやりがあり、優しい人」に重点を置いて教育活動を進める）を知っている。	41.4%	32.5%	11.3%	5.9%	8.9%
2	学校は特色ある取組（小中の円滑な接続・習得目標問題の定着・あいさつ運動など）を行っている。	41.9%	37.9%	7.4%	3.4%	9.4%
3	みなみ野小学校・みなみ野君田小学校と合同で行う取組（桑都八王子かるた、児童会・生徒会の交流）について知っている。	41.4%	30.0%	10.3%	7.4%	10.8%
4	学校は、子供たちが安心・安全に過ごせるように、避難訓練などの安全管理に取り組んでいる。	62.6%	23.2%	3.9%	5.4%	4.9%
5	学校は、「特別の教科 道徳」を含む教育活動全体を通して、子供たちが自分の大切さ、他の人の大切さを認め、行動できるような教育を進めている。	45.3%	32.0%	9.4%	5.9%	7.4%
6	学校は、いじめの未然防止、早期発見、早期対応など、いじめを許さない学校づくりに組織的に取り組んでいる。	36.9%	37.9%	8.9%	6.4%	9.9%
7	子供の学級では、授業や学校行事に意欲的に取り組むよう、指導が行われている。	43.8%	35.0%	4.4%	6.4%	10.3%
8	学校は、授業において、説明、板書、話し合い活動、ICT機器（1人1台の学習用端末等を含む）の活用などの工夫に取り組んでいる。	47.3%	31.0%	7.4%	3.9%	10.3%
9	学校の学習活動に対する評価は適切・公平である。	30.0%	31.0%	14.3%	7.9%	16.7%
10	学校は、子供たちがよりよい学校生活を送れるように、生活目標を設定したり、決まりを守ったりする指導を行っている。	40.9%	36.5%	5.9%	7.4%	9.4%
11	学校が、「はちおうじっ子キャリア・パスポート」などを用いて、子供の生き方や将来についてのキャリア教育を行っている。	59.1%	25.1%	3.9%	3.9%	7.9%
12	学校は、学習環境の整備に取り組んでいる。	36.0%	36.0%	8.4%	7.4%	12.3%
13	学校は、保護者に対して、学校便りやホームページなどで適切に情報を提供している。	46.3%	34.0%	7.9%	6.9%	4.9%
14	学校は、特別支援教育（特別な配慮や支援を必要とする子供に対する教育）に取り組んでいる。	29.1%	29.1%	13.8%	6.9%	21.2%
15	学校は体罰・不適切な指導の根絶に向けて取り組んでいる。	40.4%	28.6%	9.4%	6.9%	14.8%



全生徒数468名に回答を依頼し、回答数は203名分（回収率43%）でした。複数の回答が80%を超えており、おおむね本校の教育活動にご理解とご協力をいただいていることが伺えます。なお、「1. あてはまる」「2. ややあてはまる」の合計が80%を下回った項目への回答は以下のとおりです。

- ・項目1では、学校ホームページへの掲載はもちろんのこと、学校便りなどを通して、情報を発信していくように努めます。
- ・項目3では、桑都八王子かるたの対象がみなみ野小学校が1年生、みなみ野君田小学校が2年生、みなみ野中学校が3年生と限られた児童・生徒で実施し、該当の学年以外は関わっていないことが原因だと考えます。学校ホームページや学校便りなどを通して情報を発信していきます。
- ・項目6では、特別の教科 道徳で行われているいじめに関する授業の取り組みなど、いじめ防止の取組も学年便りなどで発信していきます。
- ・項目7では、生徒自身が目標の達成に向かって意欲をもって主体的に取り組めるよう、継続して指導します。
- ・項目8では、生徒アンケートでは9割が肯定的な回答をしています。より多くの保護者の方々にICT機器の活用について知っていただけるよう、授業参観や日常的な場面での活用などの工夫に取り組んでいきます。
- ・項目9では、まだ評価が出されていない1学期途中の段階での調査のため、「分からない」と回答された方が約17%まで上昇したと考えられます。同じ市内の中学校とも情報を共有し、本校における課題を明確にして、改善に努めていきます。また、校内研修を実施して、定期考査の在り方や評価・評定について共通理解を図り、学習評価の適正化に尽力していきます。
- ・項目10では、毎月設定している生活の決まりを守らせる指導を行っていきます。
- ・項目12では、学習環境については整備を取り組み始めています。学習進路部や生活指導部では教室の前の黒板に掲示物を貼らずに、授業に集中できる環境づくり（ユニバーサルデザイン）などに努めていきます。
- ・項目14では、生徒が落ち着いて生活できるよう教室環境等の配慮を更に進めていきます。通級指導学級「フレンズ」や別室登校支援「おいでよ」などの活動状況もより多くの保護者の方に伝えていきます。
- ・項目15では、年3回の服務事故防止研修などを通して、体罰・不適切な指導についての正しい認識をもつとともに、生徒理解に努め、生活指導部や学年組織を中心にチームとして対応していきます。